

ふじのくに防災士養成講座 出席8割以上の考え方

1 各講義

- ・ 講習時間の8割以上で当該講座の出席とします。
90分授業の場合は、72分以上の聴講
60分授業の場合は、48分以上の聴講
- ・ 遅刻や早退があった場合は、上記の基準を適用。
- ・ ライフラインは90分、60分の2時限に分割していますが、2時限をもって1講義と見なします。よって全体で150分の8割の聴講が必要となります。(30分以内の欠席であれば出席)

2 講座全体

- ・ 令和7年度の講義は、全体で25講義です(ライフラインは2時限で1講義)。よって、25講義の8割以上=20講義以上の受講をもって8割以上の受講と見なします。

※なお、実習科目である普通救命講習、災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)、イメージTENは、任意履修科目ですので、ふじのくに防災士養成講座の修了に必要な講義ではありません。ただし、日本防災士機構の防災士受験には、DIGのHUGのいずれか1科目の履修が必要です。普通救命講習については、日本防災士機構の防災士認証の要件として、消防機関の普通救命講習ⅠまたはⅡと同等の講習の修了証(防災士の認証時点から5年以内の発行、有効期限がある場合は有効期限内)が必要とされています。

日本防災士機構防災士に関する詳細については、日本防災士機構のホームページを御確認いただくか、直接お問い合わせください。(日本防災士機構への問い合わせについては、質問及び回答の確実性を保つため、取り次ぎはいたしませんので御了承ください。)